

「比叡の水でビオトープをつくろう」計画

「水がなくなってる…!」



登園するなり池の様子を見に行った A 児。「水がなくなってる!」「あんなに水入れたのに…」 前日、園庭の地面の水はそのままにしたらなくなることを予測して、石を敷くなどの対策をしていたのに、少しも残っていなかったことが残念だった様子。「石の隙間から水がこぼれたんじゃない?」という子どもたちの考察。今度は「もっと深く掘る」「隙間をうめる」という作戦を思いつき、実行し始めました。「TV で見たことあるねん」と左官屋さんのようにへらを使ってコンクリートを縫い込む具合に隙間を埋める C 児。



そして、ようやく 2 号池が完成すると A 児「どれくらい深くなったかな」と深さを気にし始めました。すると B 児「あ、いい方法あるで!」と、メタセコイアの枝を拾ってきて、池の底に差し、水面から出ている部分をつまんで引き上げました。「今これくらい!」と友達に見せてくれました。「昨日より深そう!」と、明日を楽しみにする様子がありました。